



社会新報 (岡山県連合版)

2017年6月1日
(特集:共謀罪)

社会民主党全国連合機関紙宣伝局(毎週水発行)
〒104-0043 東京都中央区湊3-18-17マルキ複合ビル5F
TEL.03-3553-3731 1部 184円・月700円

岡山市北区弓之町5-7 Tel.086-226-1234

発行責任者 武本恒夫

http://www.sdp.or.jp/okayama/index.html e-mail: shamin okayama@fancy.ocn.ne.jp

共謀罪はイケン!



「共謀罪」を採決強行、「森友学園」「加計学園」問題と、安倍政権の「ごう慢ともおごり」とも、言葉を手放し政治の暴走が続く。「総理のご意向」文書も、当時の行政トップが会見で存在を明らかにしても、「誠意をもって調査したのがなかった」と闇に葬ろうとしている。その言葉をどれほどの国民が信用しようか。信頼されない政治ほど国民にとつて不幸はない。その安倍政権が「共謀罪」を数度押し切り、参議院に論議がうつった。市民のだれもが監視され「話し合うことが罪になる」、民主主義を窒息させかねない「共謀罪法案」に連日、街頭で廃案を訴えている。

共謀罪強行採決に
県連合が独自街宣に
安倍政権は5月23日、「話し合うことが罪になる」共謀罪を衆院本会議で採決を強行した。翌日24日夕刻、小雨の中でも党県連合の宮田代表や野崎、武本ら3役が交代でマイクを持ち、「話し合った」ことを処罰の対象とする「共謀罪」法案は、格差拡大、過



24日、党街宣で宮田代表ら3人がマイククリリーで、共謀罪の廃案を訴える

連日の共謀罪廃案の声をあげよう!に強行
これに先立つ14日、「共謀罪法案」が週内にも採決の動きが見られたため、総がかり行動は緊急の街頭宣伝を行い、「平成の治安維持法」と指摘される法案の廃案を訴えた。当日午前中の県連合常任幹事会后、午後の総がかり行動に植田副代表らも参加(写真右下・マイクは宮田代表)

労自・死するほどの働き方など、「アベノミクス」の失敗で広がる社会的不満や政治不信の声をあげることを萎縮させ「法の運用そのものが怒

意的であったり、濫用される危険性があり、一種の無制限な権限を与えることになる」と廃止を訴え、他の党員とともにチラシを配付した。



再び悔いをなす暇はない
市民団体からは「メディアの一部には、共謀罪の報道を抑えるという形の偏向報道が見られる。大事な社会の動きが起きていることを知らせない。政府に反対する人は社会の調和を崩す人と思わせるような報道姿勢が見られる」とメディアの役割を問う発言やこどもの成長に接し、次の世

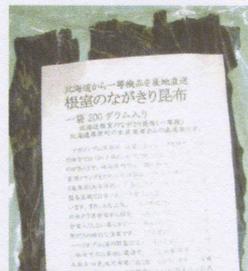
また、5月19日は奇しくも一昨年9月の「戦争法」強行採決と同じ日、「共謀罪法案」が衆院法務委員会「30時間やったからもういいでしょう」と国民をあざけるように数々の横暴で採決を強行した。総がかり行動はこの日、市民、野党が連続してマイククリリーで訴えた。

党県連合活動日誌

- 5/1 岡山中央・津山地区・新見地区メーデー
- 5/6 県連合メーデー ※挨拶・メッセージ・ピラ
- 5/7 憲法記念集会(弁護士会主催)
- 5/11 岡山市平和交流会実行委員会
- 5/12 4区支部集中行動・さよなら原発学習会
- 5/14 党県常任幹事会・5/14「総がかり行動」
- 5/18~19 社民党中国ブロック総会、研修会(9)
- 5/21 岡山被爆者会総会(宮田代表)
- 5/24 社民党定例街宣
- 5/29 日朝友好を進める会総会・講演
- 6/3~4 「原発のゴミ」全国集会
- 6/3 アベ政治を許さないプラスター行動
- 6/10 共謀罪法案反対1000人集会・パレード(弁護士会)

社民党の野崎副代表も「まさかそこまでとは思う教育勅語の復権や思うことを取り締まる共謀罪など、戦争できる国への総仕上げとも言うべき共謀罪、何としても廃案に声をあげよう」と訴えた(野)

代にどうい社会を引き継ぐかと問いかける発言、その他のマイクを持った多くも「思うことが罪になる共謀罪法案で対象の制限がなく、一億総監視社会、密告社会にさせてはならない」と語気を強めた



根室ながきり昆布 200g 1000円 社民党県連合まで

「新報」読者会
6月13日(第2火) 18時
弓之町「時事問題懇話会」
6月16日(第3金) 18時
*聞きたい、話したい人歓迎
いずれも岡山社会文化会館

定例学習・読者会

声で泣くことも、一瞬で静かにさせたお母さんのテクニクに賞賛する一文が目にとまった。「いーよ、すごく大きな声が出るよ!赤ちゃんも泣くのが仕事だもんね!」と煽られた男の子は「あがちやんじやない!」って泣き止んだという。スゴイッ!▼大人の世界でも、思いや考えを伝えることは難しい。しかし、「保育園落ちた。日本死ね!」は、同じこともまつわることでインパクトが強かった▼「忖度」は、本来いい意味での「人の気持ちをおしはかること」(広辞苑)であったと思うが、おなじ子どもをめぐる「森友問題」で「学校ができなくなったら子どもたちが可愛そうだからと考えて、役人にしてはよく考えてやった」(麻生財務相)に至っては、人を愚弄するに等しい▼ましてや「共謀罪法案」審議で「このへんでいいでしょう」と一方的に打ち切るのは常軌を逸した国民無視のやり方で「おごり」以外の何者でもない。早期退陣しかない(の)

大
声で泣くことも、一瞬で静かにさせたお母さんのテクニクに賞賛する一文が目にとまった。「いーよ、すごく大きな声が出るよ!赤ちゃんも泣くのが仕事だもんね!」と煽られた男の子は「あがちやんじやない!」って泣き止んだという。スゴイッ!▼大人の世界でも、思いや考えを伝えることは難しい。しかし、「保育園落ちた。日本死ね!」は、同じこともまつわることでインパクトが強かった▼「忖度」は、本来いい意味での「人の気持ちをおしはかること」(広辞苑)であったと思うが、おなじ子どもをめぐる「森友問題」で「学校ができなくなったら子どもたちが可愛そうだからと考えて、役人にしてはよく考えてやった」(麻生財務相)に至っては、人を愚弄するに等しい▼ましてや「共謀罪法案」審議で「このへんでいいでしょう」と一方的に打ち切るのは常軌を逸した国民無視のやり方で「おごり」以外の何者でもない。早期退陣しかない(の)